

地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート

(様式1)

事業者名 **富士急モビリティ株式会社**

系統名(起点～経由地～終点) **御殿場線** **御殿場駅～裾野駅～三島駅**

計画策定年度 **令和4年度** 運行期間 **R4.10.1～R5.9.30** 評価年度 **令和5年度**

(1) 基本的事項

項目	基準	計画(目標)	運行実績(内容)	評価	備考
主な運行目的	事業者記載事項	—	別紙	A	A: 運行目的どおり適切に実施 B: 減便・系統短縮等、運行目的どおり実施されていない点があった C: 運行目的どおり実施されなかった(路線廃止)
増収策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有	事業者ごとの取組を記載
費用削減策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有	事業者ごとの取組を記載

(2) 各項目の評価

項目	評価基準	計画(目標)	運行実績(内容)	評価点数	評価	備考
運行回数	年間計画運行回数と実績運行回数を比較	( 1825 )回 ( 5 回/日)	( 1825 )回 ( 5 回/日)	3	計画数以上 3点 計画数未満 0点 (国土交通大臣が認める除外運行回数は除く)	計画(目標)は表2記載のもの
収支率	計画値に対する実績値	42.9%	71.6%	18	～29% 0点 30～34% 3点 35～39% 6点 40～44% 9点 45～49% 12点 50～54% 15点 55%～ 18点	計画値: R4実績 自社経費
乗車人員	計画人員と実績人員を比較	48,201人	59,375人	6	5%超 6点 ▲5%以上5%以内 3点 ▲5%超 0点	計画値: R4実績
ネットワーク構成	他の系統の乗換可能なアクセス拠点(バス停等)の数	—	拠点( 3 )箇所 バス停( 8 )箇所	14	拠点(駅・BT): 1箇所2点 乗換可能なバス停: 1箇所1点 上限20点	主な拠点及びバス停を別紙に記載
広域トリップ状況	市町跨ぎの移動割合(運行実績による)	—	57.00%	20	～4% 0点 5～9% 5点 10～14% 10点 15～19% 15点 20%～ 20点	
公共施設・拠点施設アクセス状況	評価対象外 (バス停から半径500m以内に存在する学校(小・中・高・大・専門学校)病院(主なもので可)拠点商業施設・企業(主なもので可)その他(官公庁・駅等))	—	<b>施設名称</b> 【駅】 三島駅・岩波駅、南御殿場駅、御殿場駅 【官公庁】 富士岡支所、深良支所、静岡県御殿場合同庁舎、裾野市福祉保健会館、三島市民文化会館、裾野市役所、裾野市民文化センター 【病院】 御殿場かいせい病院、大橋医院、復生病院 【観光施設】 楽寿園、時の栖 【企業学校】 三島長陵高校、順天堂大学保健看護学部、日大三島、三島北高校、富士岡小学校、三菱アルミニウム、岡村製作所、矢崎部品、トヨタ自動車東日本		—	
キロ当たり経費	補助対象年度の前年度の地域キロ当たり経常費用単価(静岡・山梨ブロック)との比較	—	454.17円	0	単価を上回った 0点 単価～▲5% 3点 単価▲6～▲10% 6点 単価▲11～▲15% 9点 単価▲16～▲20%超 12点	
合計				61	評価指標	A

A(52～79点): 地域間幹線系統として優れた役割を果たしている  
B(26～51点): 地域間幹線系統として適した運行となっている  
C(～25点): 地域間幹線系統として改善に努力を要する

地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート(別紙)

(1) 基本的事項

項目	内容
主な運行目的	JR御殿場線と並行し、御殿場・裾野・三島の主要駅を繋ぐ地域間幹線である。 沿線には学校・病院・企業が多く存しているため、通学・通院・通勤を中心とする市間を跨ぐ生活移動を補完することを目的に運行。 また、静岡県外を結ぶビジネス移動や観光移動の交通結節点である新幹線三島駅、JR御殿場駅から県内への二次交通として、広域移動の円滑化及び地域内の活性化を図ることを目的とし運行。
増収策	ア. 割引(セット券)の販売及び季節路線の運行 ①御殿場周遊乗り放題きっぷ、富士登山バス・フリーきっぷを販売し、利用促進を促した。 ②ハイカー向けに夏季登山バスシーズン前後にハイキングバス(水ヶ塚公園、明神峠)を運行。 イ. 地域との連携や自社スケールを活用してのセールス展開 ①関係自治体と連携してバス時刻表・乗り案内のツールの小山町内全戸配布を実施。また市・町の広報誌やSNSで情報を配信を依頼し、様々な媒体を通じて、公共交通の利用を呼びかけた。 ②利用のきっかけづくりのため、小学生を中心にバス乗り方教室を実施(10校)。 ③市町の公共交通担当者から直接学校等に公共交通の利用促進の呼びかけを実施いただき、学校行事での路線バス利用を獲得。 ウ. 利用者に配慮した取り組み ①車内ドライブレコーダー活用した接遇・事故の振返りを実施。 ②バスロケーションシステムを導入し、混雑状況や遅延状況をリアルタイムに配信。 ③GIFSデータを複数のコンテンツプロバイダーへ提供し、様々なサイトで乗換検索を可能にした。 ④多言語による情報を配信することで、言葉の壁を排除し利用しやすい公共交通機関の提供に心掛けた。 ⑤車内精算にクレジットカードを追加し、利便性の提供を実施した。 エ. イベント等への積極参加・団体等へのセールス・PR活動 ①地域福祉イベントに参加し、SDGsとバリアフリーを紹介し、バス利用へのきっかけづくりを行った。 ②静岡県内のグループバス会社と協力的な乗り放題切符の造成。 ③SNSを活用した運行情報の発信。
費用削減策	ア. 燃料、オイルその他修繕部品等、車両購入の購入に加え金額が多い備品等について、富士急グループ全体での一括仕入れ実施や比較購入の徹底を図りコスト削減を実施。 イ. アイドリングストップ強化月間の実施や幹部職員による点呼など、乗務員・職員への声掛け、指導運転士街頭指導による注意喚起により、費用削減を図った。 ウ. ドライブレコーダ(H25年度内で全車搭載済み)を活用し、事故防止に役立てることで事故による修理費等の削減を図った。 エ. 効率的な運行を実施し、無駄な走行を減らすことで経費削減を図った。 オ. デジタル定期券を導入し、対人窓口の営業時間を短縮しつつも24時間定期券が購入できる環境を構築。 カ. 電気を動力源とするEVバスを導入し、動力費の削減を行った。

(2) 各項目の評価

項目	内容
ネットワーク構成	(主な乗換え拠点・バス停) JR三島駅・・・JR東海道線、東海道新幹線 JR岩波駅・・・JR御殿場線 JR御殿場駅・・・JR御殿場線 【バス停】 東し入口・・・(富士急シティバス)光が丘団地方面 萩芙蓉台・・・(富士急シティバス)芙蓉台及び見晴台方面 平松南・・・(富士急シティバス)桜堤経由三島駅方面 裾野駅入口・・・JR裾野駅 裾野市民文化センター・・・(富士急シティバス)裾野市内循環線 復生病院前・・・(自社)御殿場特別支援学校方面 かまど中・・・JR南御殿場駅 森の腰・・・(自社)御殿場市内系統
公共施設 拠点施設 アクセス状況	(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設) 日本大学、日本大学三島高校、三島北小中学校、徳倉小学校、裾野市役所、裾野西小学校、大橋医院、裾野市民文化センター、神山小学校、神山復生病院、富士岡中学校、富士岡小学校、静岡県御殿場総合庁舎 【拠点施設】 矢崎部品、トヨタ自動車東日本、トヨタウーブン・シティ、ベルシティ(ショッピングセンター) 時の栖、岡村製作所

地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート

(様式1)

事業者名 富士急モビリティ株式会社

系統名(起点～経由地～終点) 十里木線 御殿場駅～須山～十里木

計画策定年度 令和4年度 運行期間 R4.10.1～R5.9.30 評価年度 令和5年度

(1) 基本的事項

項目	基準	計画(目標)	運行実績(内容)	評価	備考
主な運行目的	事業者記載事項	—	別紙	A	A: 運行目的どおり適切に実施 B: 減便・系統短縮等、運行目的どおり実施されていない点があった C: 運行目的どおり実施されなかった(路線廃止)
増収策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有	事業者ごとの取組を記載
費用削減策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有	事業者ごとの取組を記載

(2) 各項目の評価

項目	評価基準	計画(目標)	運行実績(内容)	評価点数	評価	備考
運行回数	年間計画運行回数と実績運行回数を比較	( 2,128 )回 ( 5.8回/日)	( 2,128 )回 ( 5.8回/日)	3	計画数以上 3点 計画数未満 0点 (国土交通大臣が認める除外運行回数は除く)	計画(目標)は表2記載のもの
収支率	計画値に対する実績値	33.4%	47.6%	12	～29% 0点 30～34% 3点 35～39% 6点 40～44% 9点 45～49% 12点 50～54% 15点 55%～ 18点	計画値: R4実績 自社経費
乗車人員	計画人員と実績人員を比較	36,971人	46,806人	6	5%超 6点 ▲5%以上5%以内 3点 ▲5%超 0点	計画値: R4実績
ネットワーク構成	他の系統の乗換可能なアクセス拠点(バス停等)の数	—	拠点( 1 )箇所 バス停( 6 )箇所	8	拠点(駅・BT): 1箇所2点 乗換可能なバス停: 1箇所1点 上限20点	主な拠点及びバス停を別紙に記載
広域トリップ状況	市町跨ぎの移動割合(運行実績による)	—	33.80%	20	～4% 0点 5～9% 5点 10～14% 10点 15～19% 15点 20%～ 20点	
公共施設・拠点施設アクセス状況	評価対象外(バス停から半径500m以内に存在する学校(小・中・高・大・専門学校)病院(主なもので可)拠点商業施設・企業(主なもので可)その他(官公庁・駅等)	—	<b>施設名称</b> 【駅】 御殿場駅、 【官公庁】 原里支所、須山支所、板妻駐屯地、 【病院】 虎ノ門病院、東部病院、渡辺整形外科 【企業・学校】 原里中学校、原里小学校、須山小学校、クラボウ、ピオ中央公園、富士裾野工業団地、東海ゴム、JAなんすん、 【観光施設】 須山浅間神社、富士サファリパーク、裾野富士山資料館		—	—
キロ当たり経費	補助対象年度の前年度の地域キロ当たり経常費用単価(静岡・山梨ブロック)との比較	—	454.17円	0	単価を上回った 0点 単価～▲5% 3点 単価▲6～▲10% 6点 単価▲11～▲15% 9点 単価▲16～▲20%超 12点	
合計				49	評価指標	B

A(52～79点): 地域間幹線系統として優れた役割を果たしている  
B(26～51点): 地域間幹線系統として適した運行となっている  
C(～25点): 地域間幹線系統として改善に努力を要する

地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート(別紙)

(1) 基本的事項

項目	内容
主な運行目的	裾野市と御殿場市を繋ぐ広域系統。 沿線には工業団地や集合住宅地が存在する。特に沿線の裾野市十里木地区・須山地区は、生活圏を御殿場市までとすることから、同地区からの広域の生活移動(通勤・通学・通院・買い物)が多く存在する。また、十里木地区から須山小学校への通学や御殿場市板妻地区の通勤・通学の地域内移動のニーズを満たす役割も担っている。 シーズン期には愛鷹山ハイキングの観光移動にも供する。
増収策	ア. 割引(セット券)の販売及び季節路線の運行 ①御殿場周遊乗り放題きっぷ、富士登山バス・フリーきっぷを販売し、利用促進を促した。 ②ハイカー向けに夏季登山バスシーズン前後にハイキングバス(水ヶ塚公園、明神峠)を運行。 イ. 地域との連携や自社スケールを活用してのセールス展開 ①関係自治体と連携してバス時刻表・乗り案内のツールの小山町内全戸配布を実施。また市・町の広報誌やSNSで情報を配信を依頼し、 様々な媒体を通じて、公共交通の利用を呼びかけた。 ②利用のきっかけづくりのため、小学生を中心にバス乗り方教室を実施(10校)。 ③市町の公共交通担当者から直接学校等に公共交通の利用促進の呼びかけを実施いただき、学校行事での路線バス利用を獲得。 ウ. 利用者に配慮した取り組み ①車内ドライブレコーダー活用した接遇・事故の振返りを実施。 ②バスロケーションシステムを導入し、混雑状況や遅延状況をリアルタイムに配信。 ③GTFISデータを複数のコンテンツプロバイダーへ提供し、様々なサイトで乗換検索を可能にした。 ④多言語による情報を配信することで、言葉の壁を排除し利用しやすい公共交通機関の提供に心掛けた。 ⑤車内精算にクレジットカードを追加し、利便性の提供を実施した。 エ. イベント等への積極参加・団体等へのセールス・PR活動 ①地域福祉イベントに参加し、SDGsとバリアフリーを紹介し、バス利用へのきっかけづくりを行った。 ②静岡県内のグループバス会社と協力した乗り放題切符の造成。 ③SNSを活用した運行情報の発信。
費用削減策	ア. 燃料、オイルその他修繕部品等、車両購入の購入に加え金額が多い備品等について、富士急グループ全体での一括仕入れ実施や比較購入の徹底を図りコスト削減を実施。 イ. アイドリングストップ強化月間の実施や幹部職員による点呼など、乗務員・職員への声掛け、指導運転士街頭指導による注意喚起により、費用削減を図った。 ウ. ドライブレコーダ(H25年度内で全車搭載済み)を活用し、事故防止に役立てることで事故による修理費等の削減を図った。 エ. 効率的な運行を実施し、無駄な走行を減らすことで経費削減を図った。 オ. デジタル定期券を導入し、対人窓口の営業時間を短縮しつつも24時間定期券が購入できる環境を構築。 カ. 電気を動力源とするEVバスを導入し、動力費の削減を行った。

(2) 各項目の評価

項目	内容
ネットワーク構成	(主な乗換え拠点・バス停) 【拠点】 JR御殿場駅・・・JR御殿場線  【バス停】 森の腰・・・(自社)三島方面 大樺・・・(自社)神場方面 板妻・・・(自社)神場方面、(自社)印野方面 須山・・・(富士急シティバス)裾野方面 富士サファリパーク・・・(富士急静岡バス)富士、(富士急シティバス)三島方面 原里支所・・・(自社)ぐみ沢、御殿場西高校方面
公共施設 拠点施設 アクセス状況	(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設)  【公共施設】 フジ虎ノ門病院、東部病院、渡辺整形外科、原里中学校、原里小学校、原里支所、板妻駐屯地、須山支所、須山小学校、裾野富士山資料館、 【拠点施設】 クラブハウ、ビオパーク、富士裾野工業団地、東海ゴム、JAなんすん、須山浅間神社、富士サファリパーク、十里木別荘地、愛鷹山登山口